

真心のこもった一筆 書道は日本の文化の「書の精神」



書心書道院

詩書 清水鐘眼 しやうすい しょうがん

書心書道院 自詠の院讃歌

・香りも高き院の庄

櫻の花に抱かれて

大なる光のおとずれ

誠を学ぶ永遠の道

我等書心に集う朋輩

・青空満ちて日は高く

平和の鐘に守られて

大なる文化のおとずれ

書心を学ぶ知性の世界

我等希望に輝く書院

院の庄について――

御醍醐天皇隠岐配流の御、岡山県津山市院の庄の曾祖母実家が行在所となり、御駐泊を賜わった歴史的縁も恐れ多く、曾祖母の実家跡地の中、一万坪は現在国の史跡として御醍醐天皇・児島高德合祀の作樂神社と、大門脇の桜が往時を物語って居ります。

社号は「桜」の故事により勅号で定められ、「児島高德」の文部省唱歌が終日境内に流れて、観光参拝客で賑わって居ります。

書心書道院

☎03-3422-1440 東京都世田谷区野沢 3-39-3